

海洋ごみの問題

海洋ごみの問題

海洋プラスチックゴミは世界的な問題

プラスチックゴミによる海洋汚染はとても深刻で、えさと間違えて食べることなどにより、毎年100万羽の海鳥、10万匹の海棲哺乳（かいせいほにゅう）類、ウミガメ、無数の魚が死んでいるとされています。海洋プラスチックゴミは世界的な問題となっています。



海ごみの問題点

- 特定の地域に、繰り返し大量に漂着
- 水分、塩分、汚れの付着のためにリサイクル困難
- 紫外線や高温で劣化し、小さな破片に
- 拾えない場所（道がないなど）にも漂着

海で1番多いごみは何ですか？

その内訳として最も多いのが、釣り糸や食品の容器・包装袋など、プラスチック製のもの。一度使えばすぐに捨ててしまう、いわゆる「使い捨てプラスチック」のごみがとても多いそうです。環境省の調べによると、世界では毎年少なくとも800万トンものプラスチックごみが海に流出しているそうです。

海洋プラスチックで死んだ生き物

スペイン南部ムルシアの海岸にマッコウクジラの死骸が流れ着きました。このオスのクジラは30キロ近くのプラスチックのゴミを飲み込んでおり、海のゴミ問題の深刻さを浮き彫りにしました。

海ゴミ問題とは

陸地から流れ出したプラスチックごみが海に蓄積し、海洋生物への被害、生態系への影響、さらにはマイクロプラスチックを通じて人体への悪影響も懸念されている世界的な課題です。プラスチックは分解されにくく、波や紫外線で細かくなったマイクロプラスチックは食物連鎖を通じて有害物質を濃縮させる恐れがあります。

海を大切に

ありがとう
ございました

